

おさむ君たちは、学習してきたことを生かしながら、「これからのくらしと水」について意見を出し合いました。

これからの私たちは、水をどのように利用していけばよいか話し合ってみましょう。



「水道を広げる工事が進むことももちろん大事だけれど、

水を大切に使うことがもっと大事だと思います。」



「いつまでも、おいしい水がたくさんある会津若松市であってほしいと思います。」



①市の水道の歴史（市水道部資料による）

②水道管をうめる工事の様子

年	できごと
1924年 (大正13年)	市議会で、水道をつくることを決めた。
1926年 (大正15年)	滝沢浄水場の工事始まる。
1929年 (昭和4年)	滝沢浄水場が完成し、はじめて、市内に水道の水が送られた。
1953年 (昭和28年)	給水人口がふえたので、滝沢浄水場のろか池をふやすための工事を始める。
1954年 (昭和29年)	旧東山浄水場が完成した。
1961年 (昭和36年)	給水人口の増加にともない、水道を広げる工事を始める。
1966年 (昭和41年)	水道を広げる工事が完成した。
1970年 (昭和45年)	滝沢浄水場のちんでん池、ろか池などをふやすための工事を始める。
1972年 (昭和47年)	ちんでん池、ろか池をふやす工事が終わる。
1973年 (昭和48年)	東山ダムの水を使う東山浄水場の建設が始まる。
1983年 (昭和58年)	新しい東山浄水場ができあがる。
1985年 (昭和60年)	大川ダムの水を利用した、新しい馬越浄水場の建設が始まる。
1990年 (平成2年)	新しい馬越浄水場ができあがる。